

NEJM 勉強会 2015 年度 第 3 回 2015 年 5 月 21 日 A プリント 担当：大岸誠人
 Case 28-2014 — A 39-Year-Old Man with a Rash, Headache, Fever, Nausea, and Photophobia
 (N Engl J Med 2014; 371:1051-1060 September 11, 2014.)

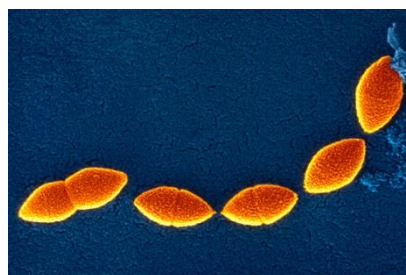
【鑑別診断】

急性細菌性髄膜炎

- 発熱と項部硬直が見られていた。初期身体診察におけるこれらの感度はそれぞれ 95%と 88%と報告されている。
- CSF では著明に上昇した WBC が見られた (13,800/cm³、90%が好中球)。WBC が 2000 以上、好中球が 1180 以上、グラム染色で細菌像が存在する、の 3 項目は細菌性髄膜炎に対してほぼ 100%の特異度を有している。

肺炎球菌

- USA における細菌性髄膜炎の 58%の起因菌。
- 通常、CNS 感染症以外の先行感染巣が存在する(肺炎、心内膜炎、中耳炎、乳突蜂巣炎、副鼻腔炎)
- Lancet-shaped diplococci と表現される特徴的な形状を有する



B 群溶連菌 *Streptococcus agalactiae*

- 新生児敗血症の重要な起因菌だがしばしば成人においても髄膜炎の原因となる。
- 合併症の存在やグルコシルチコイドの使用はリスク因子。

Strep. bovis

- 大腸にポリープ等の病変があるケースで血流感染から髄膜炎をきたしやすい。

Strep suis

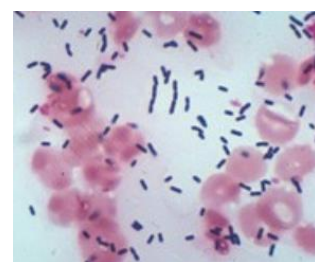
- ブタ溶連菌。ベトナムにおいてはよく見られる髄膜炎の起因菌だが米国では稀。

Strep viridans

- 虫歯菌。

リステリア

- 高齢者・乳児・免疫抑制者では、重篤化しやすい。汚染された野菜、食肉、乳製品等から感染する。日本ではグラム陰性桿菌に分類されるが、グラム陽性に見えることも多々ある。



HTLV-1 感染症

- ドミニカ共和国出身であり、この 8 年間、間欠的に皮疹が出現している。
- 通常、皮疹は小児期に出現する。本症例の経過とは合わない。

鉤虫症・皮膚幼虫移行症

- 好酸球症と関連する皮疹。
- 本症例においては寄生虫に暴露する病歴がない。

ケジラミ

- 腰と大腿に現れる掻痒性の皮疹。好酸球症とも関連。
- 海水浴をした人で、水泳パンツに幼虫がトラップされてしまうことで見られることがある。
- しかし本症例で見られるような慢性的、再発する経過をたどることはない。

慢性糞線虫症

- 慢性、掻痒性、好酸球症と関連する皮疹。
- 熱帯、亜熱帯地域では広く見られる。生活環がヒトのみで完結するため、環境が変わっても宿主体内で生存し続ける。
- 間欠的な好酸球症および腹痛、そして皮疹を特徴とする。皮疹のうち最もよく見られるのは腰部周辺の蕁麻疹、または「皮膚幼虫症?larva currens」と呼ばれる急速に移行する蛇行性の皮膚炎である。
- 本症例においては、グルココルチコイドの投与が免疫抑制状態を誘発し、糞線虫過剰感染症候群 *strongyloides hyperinfection syndrome* から播種性糞線虫症 *disseminated strongyloidiasis* を引き起こした可能性がある。
- たとえ短期であっても、グルココルチコイドおよび TNF α 阻害薬の使用は糞線虫過剰感染症候群の主要なリスク因子である。また、HTLV-1 感染症も免疫不全を誘発するためリスク因子となる。
- 糞線虫過剰感染症候群の最中では、通常好酸球増多症は見られない。
- 播種性糞線虫症は糞線虫過剰感染症候群の中でも最も重症度の高い病型であり、線虫様幼虫が肝臓、脳、腎臓、髄膜、そして皮膚に移行する。これらの移行する幼虫が腸管内の細菌を血流に乗せ、また腸管粘膜を破壊するために、細菌性敗血症、肺炎、髄膜炎がしばしば合併する。菌血症は通常、腸管内のグラム陰性桿菌によって引き起こされるが、*Streptococcus bovis* と *enterococci* も考慮する必要がある。

【臨床診断】

糞線虫過剰感染症候群に合併した腸内細菌による髄膜炎

【診断的検査】

糞便検鏡 → 糞線虫 *Strongyloides stercoralis* の幼虫が大量に観察された

CSF 培養 → *Streptococcus bovis* biotype II/2 (*Strep. gallolyticus* subspecies *pasteurianus*)

HTLV-1 血清学的検査 → 陰性

【確定診断】

糞線虫過剰感染症候群に合併した *Streptococcus bovis* 髄膜炎